

## 令和2年度 事業報告

令和2年度は、世界的に新型コロナウイルスが感染拡大する中、私たちの生活様式も一変し、経済活動の停滞やイベント・行事をはじめとした地域活動の自粛など激動の一年となりました。

当センターにおいても、受注額の減少をはじめとした事業運営から総会や行事開催などのセンター活動に至るまで、多くの制約を受けました。

依然として、当センターを取り巻く環境は厳しく先行き不透明感が増していますが、令和2年度は事業計画に基づき、新規会員の入会促進・拡大、会員の高齢化に伴う就業先の確保、適正就業に係るシルバー派遣事業の推進や安全就業の促進など、慎重かつ丁寧な事業運営に努めてきました。

この結果、受注額は減少したものの、収支は堅調に推移し当期経常増減額では前年度より増益となりました。

具体的な令和2年度の事業実績については、受託件数 5,176 件、就業延日数 98,844 人日、就業実人員 630 人、就業率 88.1%、契約金額 493,556 千円（内、シルバー派遣事業分 119,813 千円）となり、就業実人員、就業率、契約金額の主要項目部門で前年度実績を下回る結果となりました。また、年々増加傾向にあったシルバー派遣事業についても、契約金額が対前年度比 5.3%減となるなど厳しい状況が続いています。

なお、契約金額の職群別内訳では、一般作業群が全体の 73.4%を占め、続いてサービス群、技能群、管理群、折衝外交群、事務群、技術群の順となっています。

令和2年度事業計画において、センター運営の根幹に係わる最重要取り組みの一つとした会員拡大については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により年度前半は少ない参加者数となっていましたが、年明けに会員募集チラシを市内全戸に配布するとともに、あわせて市広報に掲載したことにより、以降の入会説明会の参加者数は増加することとなりました。しかし、新規入会会員が延 82 名で、加齢や病気による退会と新年度に向けての未更新会員が多数出たため、令和3年3月末現在会員数は 788 名と、前年度同時期との比較では 111 名の減となりました。

以下、項目別に事業の実績を報告します。

### 1. 安全就業の推進

令和2年度の事故件数は 6 件で、対前年度比では 1 件の増加となりました。

事故の内訳は、傷害事故が3件で前年度より1件減少、賠償事故は3件で前年度より2件増加しました。傷害事故3件の内訳は、車両の側溝転落による腕手首負傷、作業場内障害物のつまずき転倒による頭部外傷、バイク転倒での骨折でした。

特に就業途上でのバイク・自転車をはじめとした交通事故が減らないため、会員の交通安全への意識向上に取り組むこととしています。また、賠償事故のうちの2件は、除草作業時に隣家の塀や車両本体の一部を損傷、1件は駐車車両のガラス破損事故でした。

除草班では、改めて班長・班員の全員で『段ボールプロテクター』『防石ネット』『カルマー』の使用徹底の再確認を実施しました。

事故発生の際はもとより年間を通じて、安全小委員会や剪定・除草班長会議を開催し、事故原因の究明及び対策を協議するとともに、特に多発した事故の撲滅をめざし、安全・適正就業委員会の開催、職種ごとに安全取り組みの啓発文書の配布、安全パトロール等を実施しました。

## 2. 適正就業の推進

請負・委任に馴染まない契約内容の見直しを行い、是正が困難な契約についてはシルバー派遣に切り替える対応に努めました。更に発注者からの仕事の内容を十分把握することで、危険、有害な仕事の峻別や長期就業の是正を実施しました。

また、適正就業調整委員会や各班長会議等あらゆる機会を通じて「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の周知を図りました。

また、令和2年8月に適正就業調整委員会を開催し、新型コロナウイルスによる就業実績への影響や会員アンケート結果の内容について協議しました。

## 3. 就業開拓・会員拡大の推進

コロナ禍の中、就業機会創出員を中心に就業開拓に取り組み、既存発注者への就業継続依頼や新規発注者の開拓を図りました。

令和2年度の受託件数は5,176件、就業延日数は98,844人日という結果になりました。この内、発注者の新規開拓は14件で就業者数67人となりました。また、シルバー派遣による就業会員数は188人で前年比5.5%の減となっています。高年齢会員の就業先確保の観点での取り組みとして受託した市広報のポスティング業務が軌道に乗ってきたことから、同種の他の配布業務依頼を受注し易くなったことを受け、これらの契約件数が増加しています。本業務には高年齢会員を中心に常時約65名の会員が就業しています。

今後の就業開拓にあたっては、適正就業を念頭に入れ開拓しなければならないため、シルバー派遣をより一層推進するとともに適正就業調整委員会等の意向を踏まえて適切に実施します。

会員拡大については、会員募集チラシの全戸配布(34,443 枚)をはじめ、「名張市くらしのガイドブック」(全戸配布)への広告掲載、広報なぼり(令和3年2月25日号)の半ページを使用した「かわら版シルバー人材センター」などを通じて会員募集広告を掲載するなど、積極的な会員募集活動に取り組みました。この後の入会者が通常より増加したこともあり、効果的な取り組みとして引き続き実施することとします。

この他、ホームページへの掲載、シルバー朝市においてチラシ配布等による会員募集の広報活動を積極的に推進したほか、感染対策として検温・手指消毒・マスクの着用をはじめ広い会場の確保などの対策を講じた入会説明会を毎月開催し、新規会員登録へのきっかけづくりに取り組みました。

なお、コロナ禍の中で会員総数は伸び悩みましたが、中期計画の会員 960 名を目標に今後とも会員拡大への取り組みを更に強化します。

#### 4. 福祉・家事援助サービスの推進

令和2年度の事業実績は、福祉サービス、家事援助サービス、介護予防・地域支え合いサービスを合わせて受託件数 419 件、契約金額 24,429 千円で前年度より受託件数、契約金額ともに減少となりました。大きな原因は、これまで福祉・家事援助サービスに含まれていた事業所等での清掃業務が一般分類に変更になったためですが、福祉・家事援助サービス自体についても、大口の福祉施設で施設清掃や調理業務を民間の業務委託に切り替える動きが進んでいるため、危機感を持ってその動向を注視していく必要があります。

本事業の充実と会員の資質の向上・交流を図るために例年開催している会員研修会や野外交流会、県主催の「シルバーいきいきフェスタ」等は中止となりました。

毎年12月実施の「福祉・家事援助サービス月間」では、市役所での落ち葉掃除の奉仕活動及びチラシ配布等の啓発活動を行うとともに、さらに今年度はシルバーファームとタイアップし野菜や焼き芋の販売等も行い、地域社会に広くアピールをしました。

12月には、動画配信により開催された全国シルバー人材センター事業協会主催の「令和2年度福祉・家事援助サービス担当者会議」において、当センターの福祉・家事援助班の取り組みが、事例発表として全国のシルバー人材センターに紹介されました。

## 5. 剪定枝葉等再活用事業の推進

令和2年度の処理量は、剪定枝葉 142 t、刈草 326 t の合計 468 t でした。この内シルバー事業により処理される剪定枝葉が 142 t、刈草が 311 t で計 453 t となっています。

チップ化・細断化した剪定枝葉や刈草の再活用として、主に一般家庭、果樹園等で土壌改良品として利用しています。又、伐採した樹木は薪として販売しました。

また10月には、愛知県美浜町シルバー人材センター34名が、先進地視察として剪定枝葉のチップ化事業を行っている黒田作業所に来られました。

本事業は、自主財源を主としていることから非常に厳しい財政運営を余儀なくされていますが、今後ともごみの減量化、資源リサイクル、地域の環境保全に資するためにも、事業の合理化や経費節減に努め、健全な事業運営に取り組みます。

## 6. 補助事業の推進

### (1) 高齢者活躍人材確保育成事業

三重県シルバー人材センター連合会から受託した事業で、高齢者を対象にシルバー会員として雇用・就業に繋がる技能講習を実施する事業です。本年度は「野菜の栽培講習」と「きちんと片付け&掃除講習」を開催し、延 18 名の参加者がそれぞれ熱心に受講し、最終日には参加者を対象に入会説明会も開催し、活況の内に終了しました。

### (2) 経済好循環推進協議会委託事業

名張市経済好循環推進協議会からの受託事業として、センター会員の拡大や雇用・就業促進に取り組む「シニア層の労働支援」事業を実施しました。当事業は、会員拡大と就業先の新規開拓に取り組むことにより、高齢者の潜在的な労働力を掘り起こし、地域経済の活性化並びに事業継承をはじめ経済の好循環をもたらすことに寄与することを目的としたものです。

今後とも助成事業などについて、市等関係機関との連携・協議を綿密に行い適正な事業執行に努めます。

## 7. 独自事業の推進

平成29年度から独自事業として継続・推進している「シルバークラウド事業」については、本年度においても、名張市下小波田地内の休耕田を活用して「ちぢみほうれんそう」をはじめ旬の各種野菜を生産し、シルバー朝市やとれたて名張交流館や各

種イベント等で販売しました。また、シルバー朝市やイベント参加時には会員募集活動を実施しました。このようなシルバーファームの活動が、「月刊シルバー10月号」で地域に根ざすシルバー事業として紹介されました。今後の取り組みは、独自事業検討委員会を主体として検討・研究します。

## 8. シルバー事業の普及啓発の推進

コロナ禍の中、様々な活動を自粛せざるを得ない状況でしたが、シルバー事業の理解と協力・支援を得ることを目的に、普及啓発活動や奉仕活動を実施しました。

(1) 会報「ゆうゆう第47号」を発行しました。

(2) 「とれたて!なばり2020」は中止となりましたが、別途、市役所前において農作物直売を実施し、あわせてPR用チラシ、啓発用ポケットティッシュを配布しました。

(3) 名張市役所使用の共通封筒(小封筒)への企業広告(有料)に「名張市シルバー人材センター」の広告を掲載しています。

(4) 「会員募集」「仕事受注」の啓発・宣伝チラシを作成し、随時に配布しました。

## 9. 会員アンケート調査の実施

会員の就業実態や満足度、就業希望などの要望等を把握し、今後のセンターの運営に役立てるため、全会員を対象とした「会員向けアンケート」を取りまとめ、集計結果については理事会及び会報誌等を通じて公表するとともに、第5次中期計画策定のための参考資料としました。

## 10. 第5次中期計画の策定

第5次中期計画策定委員会を設置し、昨年10月から本年3月まで延3回の委員会を重ね、第4次中期計画を踏襲しつつ新たな社会状況の変化にも対応できる、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの今後5か年のセンター事業運営及び活動の指針とした第5次中期計画を策定しました。

## 11. 委員会活動の推進

「安全・適正就業委員会」「適正就業調整委員会」「福祉・家事援助委員会」「独自事業検討委員会」「剪定枝葉等再活用推進委員会」「会報編集委員会」の6委員会、それぞれの課題等について協議・検討を行いました。